

## 平成30年度 経営発達支援事業の結果報告

### 事業評価委員会

日時：平成31年3月15日（金）午前11時開催  
出席者：有本 尚史委員（太田市産業環境部 部長）  
間普 崇 委員（関東学園大学 経済学部准教授）  
戸塚栄三郎委員（中小企業診断士）  
橋本専務理事、湯沢事務局長、金谷相談所長、川内課長  
内容：資料に基づき支援事業の結果について事務局から説明し、別紙の通りの評点と評価コメントを頂いた。

この評価の結果を3月29日（金）開催の正副会頭会議にて説明し、委員から指摘を頂いた事項を改善しながら、継続して取り組むことで承認を頂いた。

事業実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日（29年度開始5か年計画）  
（平成31年2月末の実績で評価）

### I. 経営発達支援事業の内容

#### 1. 地域の経済動向調査に関すること

調査事業名	自己評価	30年度目標	30年度実績	29年度実績
管内景況調査 （D I 調査）	○	4回	4回	4回
景況感聞き取り調査	○	12回	12回	12回
経済概況発行	○	1回	1回	1回
小規模企業景況調査	△	1回	1回	0回

#### 2. 経営状況の分析に関すること

支援内容	自己評価	30年度目標	30年度実績	29年度実績
経営状況分析件数	△	96件	65件	59件
① 経営状況分析セミナー開催数	○	2回	3回	2回

① 経営状況分析セミナー開催《資料4参照》

「30年度は、経営分析と事業計画作成の内容のセミナーを3時間程度で終了する完結型のセミナーを3回開催し、より多くの参加者を集め、取り組みやすいように変更し掘り起こしを行う。」よう補助金申請時に見直しを行い、経営状況分析と事業計画作成セミナーを兼ねて開催した。

題名：「事業計画書作成セミナー」

～事業計画書って本当に必要ですか？答えは1つ・・・～

日時：平成30年9月4日(火)午後6時 10名  
 〃 9月10日(月)午後2時 10名  
 〃 9月13日(木)午後2時 13名

計33名参加

講師：田辺 浩氏（中小企業診断士）

3. 事業計画策定支援に関すること

支援内容	自己評価	30年度目標	30年度実績	29年度実績
事業計画等策定支援数 (経営革新、事業承継含む)	○	56件	64件	52件
創業・第二創業計画策定支援数	○	20件	30件	32件
① 事業計画セミナー数	○	2回	3回	2回
経営革新計画セミナー数	×	1回	0回	0回
② 事業承継セミナー数	○	1回	1回	1回
③ 創業スクール数	○	1回	1回	1回

① 事業計画セミナー開催

2. ①経営状況分析セミナー同様

② 事業承継セミナーと個別相談会開催

題名：両毛5市商工会議所連携「事業承継セミナー・個別相談会」

日時：平成30年10月29日(月)

セミナー 午後2時～午後3時 16名参加

個別相談会 午後3時～ 2名参加

講師：森 和博氏（群馬県事業引継ぎ支援センター統括責任者）

相談員：菊地則行氏（群馬県事業承継ネットワークコーディネーター）

### ③ 創業スクール開催

題 名：「太田商工会議所創業スクール」

日 時：平成30年10月9日、16日、23日、30日

11月6日、13日、27日

火曜日開催、18：30～21：00 計7回（17時間30分）

\*申込者：30名

講 師：石川知穂氏（中小企業診断士）

創業者：5名（ペット施設運営1名、ダンススクール1名、飲食業1名、

I T関連業1名、園芸品小売業1名）

## 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

支援内容	自己評価	30年度目標	30年度実績	29年度実績
事業計画等策定後の フォローアップ事業所数	△	56件	31件	41件
創業・第二創業者の フォローアップ事業所数	△	20件	16件	11件
フォローアップ 延べ事業所件数	○	76件	95件	52件

## 5. 需要動向調査に関すること

支援内容	自己評価	30年度目標	30年度実績	29年度実績
① 経済産業省生産 動態統計調査	○	12回	12回	12回
② 商圈調査	○	12回	12回	12回
市民アンケート調査	×	1回	0回	0回
③ インターネット調査	○	12回	12回	12回
個社支援需要動向調査 支援数	×	6回	0回	0回

① 経済産業省生産動態統計調査：自動車部品製造動向を月ごとに集計

② 商圈調査：市内の人口動態を集計

③ インターネット調査：日経NEEDS統計データから家計、住宅着工数、自動車販売など参考と思われる情報を収集保存。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

支援内容	自己評価	30年度目標	30年度実績	29年度実績
① ビジネスプレス発表会発表数	○	9社	9社	11社
展示会・商談会出店数（上段） と成約数（下段）	×	6件 3件	0件 0件	0件 0件
② ネット販売進出件数	×	6社	0件	2社

### ① ビジネスプレス発表会

- 第17回 平成30年4月24日（火） 3社
- 第18回 平成30年8月6日（月） 3社
- 第19回 平成30年12月11日（火） 3社

### ② ネット販売進出

ネット販売に適した業態の方の相談が無かった。製造業でホームページ作成者1件  
飲食業でフェイスブック、インスタグラム、ツイッター開始者が1件あった。

## II. 地域経済の活性化に資する取組

取組内容	自己評価	30年度目標	30年度実績	29年度実績
① 太田よいとこ	○	1回	1回	* 呑龍様祭
② 呑龍市	△	2回	1回	2回
③ まちゼミ	○	1回	1回	1回
④ 婚活事業	○	1回	1回	1回

### ① 太田よいとこ観光PR&太田うまいもん展

- 9月 1日（土） 八王子山公園を会場に開催 6,600人来場
- \*大光院で開催してきた呑龍様まつりに代わるイベントとして開催

### ② 呑龍市

- 5月20日（日） 大門通りを会場に開催 9,000人来場

### ③ まちゼミ

- 10月1日～10月31日 市内参加店73店舗内で開催
- 100講座が催され、1,069名が受講

### ④ 婚活事業

- 11月17日（土） 男女150人ずつ計300名参加
- お見合いパーティ形式で実施、60組のカップルが成立

### Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

取組内容	自己評価	30年度目標	30年度実績	29年度実績
① 群馬県中小企業サポーターズミーティングの活用	○	1回	1回	1回
② 広域経済交流推進協議会指導員交流会議の活用	○	2回	2回	2回
③ 市内金融機関懇談会の活用	○	1回	1回	1回
④ 地域産学官連携ものづくり研究機構交流会議開催	×	2回	0回	1回

##### ① 群馬県中小企業サポーターズミーティング

- ・ 9月10日 全体会議参加（日常的には、メールマガジンで情報収集）

##### ② 広域経済交流推進協議会指導員交流会議の活用

- ・ 10月24日 視察研修会実施（甲府まちづくり会社）
- ・ 2月 1日 視察研修会実施（市内工場1カ所）、事業情報交換会の開催

##### ③ 市内金融機関懇談会の活用

- ・ 12月6日 懇談会及び株SUBARU 小林調達本部長講演

##### ④ 地域産学官連携ものづくり研究機構との交流

- ・ 機構主催の人材育成セミナーを当所会報でPR開始

#### 2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

取組内容	自己評価	30年度目標	30年度実績	29年度実績
① 中小企業大学校研修	○	2回	2回	2回
② 県内経営指導員研修会	○	2回	2回	2回
③ 補助員研修及び一般職員研修	○	1回	1回	1回
④ 日商WEB研修	△	—	各自実施	各自実施
⑤ 民間WEB研修	△	—	各自実施	各自実施
課題解決研修会	×	1回	0回	1回
⑥ 支援能力の組織財産化	○	—	着手	未着手

##### ① 中小企業大学校研修

- ・ 「小規模企業の相談支援手法」 11/20～11/22 1名派遣
- ・ 「新規事業・第2創業支援の進め方」 11/27～11/30 1名派遣

② 県内経営指導員研修会（主な題目）

- ・ 早期経営改善計画策定事業（プレ405事業）について
- ・ 働き方改革への取り組み
- ・ 消費税軽減税率制度等について
- ・ 事業承継のポイント解説と経営承継円滑化法の活用について
- ・ 中小企業支援に役立つ、インターネット活用のノウハウ
- ・ 中小・小規模事業者のための決算書の見方・活かし方
- ・ 資金繰り改善のポイント
- ・ 事業再生に向けた取り組み

③ 県内補助員研修及び一般職員研修

- ・ 事業者における分析フレームワークの活用
- ・ 質問力を鍛えて仕事の品質を上げる
- ・ ゼロから始める働き方改革実践ノウハウ

④ 日商WEB研修

- ・ eラーニング方式で中小企業経営全般を学習できるようになっている。中小企業に対する創業・経営革新に必要なビジネスおよび情報関連の知識を身に付けることを目的としている。全職員受講。

⑤ 民間WEB研修

- ・ (株)イー・ブレンが運営する経営に関する研修で490タイトルが運営されている。弊所職員及び小規模事業者（会員・非会員）が事業所や自宅で受講できるよう無料で公開している。経営指導員が事業計画作成支援の時に受講を勧奨する。

⑥ 支援能力の組織財産化

- ・ 業務の引継書の様式を統一し、業務フロー図を用いて表すよう作成に着手。

分類	項目	有本委員	間普委員	戸塚委員	平均	委員からのコメント
経営発達支援事業の内容	1.地域の経済動向調査に関する事	4	5	5	4.7	・各調査のニーズを適切に判断し、ニーズの高い調査をお願いしたい。(有本委員) ・小規模景況調査を再開したことは評価できる。(間普委員) ・小規模企業景況調査では昨年度に実施できなかったことを今期は別な形で実施しており良いと思います。(戸塚委員)
	2.経営状況の分析に関する事	5	5	4	4.7	・セミナーへの参加者を増やすという課題に引き続き取り組んで頂きたい。(間普委員) ・セミナーの参加が若干少なくなったようですが、継続が大切だと思います。目標達成に向けて頑張ってください。(戸塚委員)
	3.事業計画策定支援に関する事	5	5	4	4.7	・事業承継セミナーと個別相談会開催は進め方がわからない事業者にとって、重要と考えます。(有本委員) ・実際の創業案件が出ているなど、着実に成果を出していると評価できる。(間普委員) ・経済状況により必要でないセミナーも出てくるのは仕方ないと思います。(戸塚委員)
	4.事業計画策定後の実施支援に関する事	4	4	4	4.0	・なるべく多くの企業を訪問して頂きたい。(有本委員) ・着実に成果を挙げていると評価できる。(間普委員) ・企業の経営力向上にはフォローアップは絶対に必要なのでなるべく多く企業を訪問してほしいと思います。(戸塚委員)
	5.需要動向調査に関する事	4	4	4	4.0	
	6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	4	4	3	3.7	・展示会の開催等計画的に進めて頂きたい。(有本委員) ・「出店数・成約数」「進出件数」がなかったことは残念であるが、引き続き支援のための体制維持を希望。(間普委員) ・展示会・商談会等早めに企業に声かけを行い、参加できる企業を探して欲しいと思います。(戸塚委員)
地域活性化	7.地域経済の活性化に資する取組	5	5	5	5.0	・今後も継続していただきたい。(有本委員) ・今後も継続されることを期待します。(間普委員) ・良く出来ていると思います。(戸塚委員)
支援力向上	8.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	5	5	4	4.7	・MRO との連携をさらに密にしていきたい。(有本委員)
	9.経営指導員等の支援力の向上の仕組み	4	5	4	4.3	・多様な研修の場を設けていると評価できます。(間普委員)
	10.支援ノウハウ等を組織内で共有する体制	4	4	5	4.3	・各種研修でスキルアップしてください。(有本委員) ・業務フロー図の作成に着手したことは評価できる。今後もそれらの作成と活用に取り組んでいただきたい。(間普委員) ・業務フロー等の作成で目に見える形での共有が出来てよい試みだと思います。(戸塚委員)
	平均	4.4	4.6	4.2	4.4	
【総合コメント】						
(有本委員)概ね達成されていると評価します。今後一層のサポート体制をお願いするとともに、指導員の支援力のレベルアップを進めていただきたい。						
(間普委員)計画した活動を着実に実施しており、高い成果となっていると評価できる。経済動向調査や支援力向上について新たな取組を実施している点は高く評価できる。そうした取組の継続されることを期待する。						
(戸塚委員)一般的に計画等は数年経過していくと実績が出ないので行動を止めてしまうものが多くありますが、今回の実績を見ると前回できなかったものを確実に取り組んでいるように感じます。継続が大切ですので、今後も頑張ってください。期待しております。						